

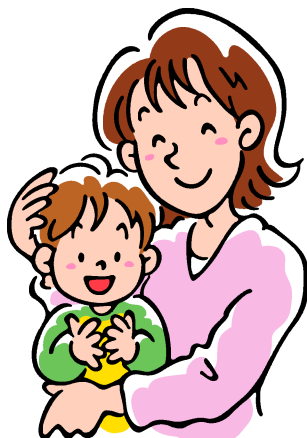
全釧路情報

2019. 2・3月

No.7

全釧路教職員組合

署名のご協力、ありがとうございました。 「ゆきとどいた教育を求める全国署名」



私たち、全釧路教職員組合では、教材費や給食費など学校教育に関わる保護者負担の軽減、教育予算の増額、常態化している教職員の超過勤務や多忙化解消のため、教職の増員などを盛り込んだ「すべての子どもたちに行き届いた教育を求める全国署名」の取り組みを毎年行っています。今年も道、国にむけ、署名活動行いました。今年は皆様のご協力により全釧路教職員組合で1368筆を集めることができました。これらの署名には、未来を担う子ども達への思いがたくさん詰まったものばかりです。ご協力、本当にありがとうございました。

新年度、1学期には、文部科学省概算要求に関する要請書名（えがお署名）にもまた取り組みます。是非、この署名のご協力もお願いします。

2月16日には 第4回連続教育講座を開催

全釧路教職員組合では、教職員としての力量を高める学習も定期的に行っています。2月16日（土）には、第4回連続教育講座を開催しました。

講座① すぐ使える集団遊び

講座② 民主的な職場づくり

の内容で行いました。新年度4月13日（土）には、2019年度第1回連続教育講座も行います。是非ご参加ください。



職員会議や研修が6時まで？ 1年単位の变形労働時間制

1年単位の变形労働時間制では、
長時間労働は解消されません。

文部科学省の中央教育審議会では、地方公共団体の判断による「1年単位の变形労働時間制」の導入を提言しています。

中教審で示されたイメージ

- 学期中の1日の勤務時間
週3日～4日 1時間延長
(7時間45分→8時間45分)
- 長期休業中
年間15日～20日を休日とする

現行の勤務実態をあてはめてみると、勤務時間が減ったようにも見えますが、1年単位の变形労働時間制を先行して導入している国立の大学附属校では、長時間勤務の解消にはつながらず、「うまくいっていない」という声も上がっています。(2018年10月22日付 日本教育新聞) また、夏季休業中にも補充学習、部活動、研修などリフレッシュどころか、学校で仕事しなければならない状況もあります。(※中教審では「勤務時間上限ガイドライン」も示されましたが、なんと「最大月100時間」まで認めています。)



長時間労働の解消は、教職員定数の大幅場で！

私たち、全釧路教職員組合では、実効ある教職員の働き方改革を求め、運動を進めています。上記のチラシも配布しています。3月には署名活動も行います。毎日、ゆとりを持って子どもの前に立てるよう、勤務条件の改善を進めていきましょう。女性教職員の皆さん、職場で困ったり働きづらさを感じたことはありませんか。

女性教職員の皆さんの声を集めて。□□

私たち、全釧路教職員組合女性部では、働く女性が気持ちよく働けるための様々な取り組みをしています。今年度も市内の女性教職員にアンケート活動も行い、市教委、道教委に要求を行いました。また、3月には国際女性デー釧路集会も行います。

国際女性デー釧路集会

3月10日(日) 13:30～ 釧路市生涯学習センター 705, 6
講演「LGBTって なあに」 加藤 丈晴 弁護士